

SDGs水関連目標実施に関する国連ハイレベル会議(2021.3)【結果概要】

国連総会議長が主催するSDGs水関連目標実施に関する国連ハイレベル会議が3月18日に開催された。日本から、赤羽大臣が水関連災害の被害削減に関連するSDGターゲット11.5の重点的なフォローアップの重要性とそのための進捗管理に貢献することを発信。

- 1. 背景・目的 「SDGs達成に向けた水に関する緊急行動と新型コロナウイルス感染症からの持続可能な回復」をテーマに議論。SDGsの水関連の目標の実施を促進するため、教訓や好事例を共有し、2023年に開催される「国連水の行動10年中間評価会議」※に反映
※1977年国連水会議(マル・デル・プラタ)以来の国連総会決議に基づき開催される水関連会議
- 2. 日程・方法 2021/3/18(月) 10:00~20:00(米国東部時間) Web会議形式オンライン
- 3. 参加者 赤羽国交大臣、ボグスル国連総会議長(主催)、モハメッド国連副事務総長、アクラム国連経済社会理事会議長、ラモン・タジキスタン大統領、ルッテ蘭首相、ヤーノシュ・ハンガリー大統領、チャンオチャ・タイ首相、ホンボUN-Water議長、他約80カ国の首脳、閣僚級

赤羽大臣によるビデオメッセージ

(参考)首脳級による主な発言



●国連総会議長「水と衛生に関するSDG6は、他のSDGsの多くと関わるが順調に進んでいない。しかし同時に、SDGs全体の進捗を強化する大きなチャンス」

●タジキスタン大統領(2023年会議共同議長国)「洪水を含む気候変動への適応も重要。水と気候パネルも開始された。氷河融解も大きな問題。統合水資源管理を推進する」

●オランダ首相(2023年会議共同議長国)「気候変動適応がSDGsの達成に重要。1月には気候適応サミットを実施した。」

●ハンガリー大統領「人為的な気候変動の影響を緩和する必要。洪水・渇水・水質などの問題解決には統合された正確なデータベースとその評価が重要。」



✓ 本会議では、各国の首脳、閣僚級からSDGsの水関連目標の達成に向けたそれぞれの教訓や好事例がビデオメッセージを通じて発信・共有された。続いて開催された専門家パネルでは、SDG6の進捗状況が議論された。
<http://webtv.un.org/watch/general-assembly-high-level-meeting-on-water/6241754531001/> より本会議は録画で視聴可能